

小学校第 6 学年 国語科学習指導案

単元名 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう
 教材名 「未来がよりよくあるために」(光村図書 6年)

1 単元について

- 本単元は、「B書くこと」に重きを置いた「A話すこと・聞くこと」との複合単元である。重点指導事項は、「B書くこと」の「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」である。また、「A話すこと・聞くこと」の指導事項は、「エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」である。新学習指導要領の指導事項との対応を下表に整理した。身の回りの社会問題等に関して、未来がよりよくあるための意見文を書くことを言語活動として設定する。

領域	現行学習指導要領	新学習指導要領
B	イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
A	エ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。	エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

「B書くこと」では、「課題設定や取材」、「構成」、「記述」、「推敲」、「交流」という学習過程（新学習指導要領では、「題材の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討」、「考えの形成、記述」、「推敲」、「共有」）を踏む。新学習指導要領では、単元はじめの「題材の設定、情報の収集、内容の検討」において、収集した情報について、賛成・反対の立場から分類することが、更なる情報収集の必要性の実感につながると示されている。また、収集した情報を整理することによって、理由や事例などの事実が絞られ、伝えたいことを明確にすることができると示されている。本単元では、自分が考える「よりよい未来」について、様々な立場や考え方から情報を収集する手段として、グループでの意見交流（「A話すこと・聞くこと」）を取り入れる。意見交流によって様々な考えを聞き、自分の考えを深めることが、様々な立場や考え方を踏まえた、説得力のある意見文を書くことにつながると考える。

- 読み手を説得する文章としては、第5学年10月の単元「明日を作るわたしたち」で、グループごとに提案書を書いている。提案する内容とその理由、現状の問題点と解決する方法について、グループで役割分担をして情報を収集し、話し合ったことを基に、提案書にまとめている。グループでの学習活動であったことと、生活上、身近な問題をテーマとしたことで、ほとんどのグループが解決のための提案書を書くことができていた。本学級の児童は、今年度、社会科の学習や、修学旅行における平和学習を通して、少しずつ社会情勢について興味をもち始めている。未来について思い浮かぶものを尋ねた際には、少子高齢化や環境問題といった社会問題を挙げる児童もいた。

また、これまで終東型の話し合い活動の経験は多いが、個の考えを整理・深化することを目的とした話し合いはあまり行っていない。そのため、10月の単元「ようこそ私たちの町へ」で、新聞の内容をより効果的に伝わるものにするために、アドバイスをし合うという時間を設定した。しかし、自分の考えを伝えることを苦手としている児童が多いこともあり、考えを深化させるアドバイスをし合うには至らなかった（「授業改善ステップ表」C-②の状態*）。

これらを踏まえて、本単元では、児童の興味を喚起するようなテーマを教師側から3つ提示し、そ

これから各自が選択できるようにしたい。また、児童間のアドバイスによって考えが深められるように、同じテーマを選んだ友達と意見交流ができるようにする。どうすれば読み手に説得力をもって自分の意見を伝えられるのかを常に意識させながら取り組ませるようにしたい。

- 指導に当たっては、単元の前に学級文庫に少子高齢化や環境問題といった社会問題についての本を並べ、児童の関心を高めておく。ただし、本単元では、情報収集を個人で行うので、情報過多にならないよう、内容が簡潔に整理された本を厳選するようにする。

第一次では、まず児童にとって馴染みのある「プラスチックストロー廃止」を資料として扱った教師自作のモデル文を提示する。次に、児童の意欲を高めるために、単元のゴールで佐賀新聞のコラム欄「opinion」に投稿することを呼び掛け、学習課題「説得力のある構成で書く学習 自分の考えを深めるために意見を聞き比べ、新聞に投稿する意見文を書こう」を立てる（「授業改善ステップ表」A-②からA-③へ*）。教師のモデル文は、「自分の意見」、「根拠となる出来事・事実」、「予想される反論と、それに対する自分の考え」、「自分の意見とまとめ」を入れて書いたものにしておく。そうすることで、児童に説得力のある意見文の構成について、児童が自ら気付けるようにする。そこから、説得力のある意見文を書くために何をすればよいか考えさせ、児童と共に学習計画を立てる（「授業改善ステップ表」B-②*）。

第二次では、ウェビングを行い、児童の思いや願いを引き出したい。どのような未来になってほしいか、何ができるのかを児童に考えさせた上で、関連する情報を本などで調べられるようにする。そして、それぞれの意見とその理由を3人グループで聞き合い、質問や助言をし合うことで、自分の意見を見直すことができるようにする。意見交流では自分の意見を表出すること以上に、友達の意見を聞くことが重要となる。友達の賛成や反対の意見から、根拠を補強したり、情報を収集し直して新たな根拠を得たりしながら、自分の考えを深めることができるであろう（「授業改善ステップ表」C-②からC-③へ*）。

「自分の意見」、「根拠となる出来事・事実」、「予想される反論と、それに対する自分の考え」、「自分の意見とまとめ」を書かせる際には、それぞれ色分けした付箋に書かせておく。その後、教師自作のモデル文を基に、効果的な構成を考えて付箋を並べ替えさせることで、構成表を作成できるようにする。色分けをしておくことで、意見と事実を区別したり、双括型の構成を意識したりすることができる。なお、意見文を書かせる際には、構成表を書き写すだけではなく、自分の考えが伝わるように言葉を付け加えながら文章を完成させるよう促す。

第三次では、完成した意見文を読み合うことで、内容や構成に関してよさを見付けられるようにする。見付けたよさを基に、本単元を振り返り、身に付けた力を実感させたい（「授業改善ステップ表」D-②からD-③へ*）。

- * 「授業改善ステップ表」…授業の質的改善を図るために、本研究委員会で作成したツールの1つ。
授業改善の観点A～Dごとに、児童の実態を①～③のステップで整理した。

2 単元目標

- ・意見文に説得力をもたせるよう、文章全体の構成の効果を考えることができる。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめることができる。

3 単元の評価規準

【現行の評価の観点による評価規準】

国語への 関心・意欲・態度 【関】	話す・聞く能力 【話聞】	書く能力【書】	言語についての 知識・理解・技能 【言】
①説得力のある意見文を意欲的に書こうとしている。	①話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめている。(エ)	①意見文に説得力をもたせるよう、文章全体の構成の効果を考えられている。(イ)	①文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。(イ(キ))


【新しい評価の観点による評価規準】

※新学習指導要領の評価の観点で示した。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
①文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (1) (カ)	①意見文に説得力をもたせるよう、文章全体の構成や展開を考えている。 (Bイ) ②話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(Aエ)	①文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解しようとしているとともに、説得力のある意見文の構成を考えようしたり、話し手の考えと比較しながら考えをまとめようしたりしている。

※佐賀県教育センター「プロジェクト研究（小学校国語科教育研究委員会）」の試案である。

4 指導と評価の計画（全 11 時間）

…質的改善を図った手立て

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (【I】) 評価方法 (【II】)
単元前			・学級文庫に現在の社会や自然環境についての本を並べ、児童が関心をもてるようにする。	
一	1	○教師自作のモデル文を基に、単元の学習への見通しをもつ。 ○単元のゴールを見通し、学習課題を立てる。	・モデル文として、環境問題に関する教師自作の意見文を提示し、自分の考えや行動を変えてみようと思ったかを尋ねる。同時に、どこでそのように感じたのか、 <u>説得力があった部分について確認する。</u> ・単元のゴールとして「佐賀新聞」の「opinion」に意見文を投稿することを伝えることで、初めて読む人を納得させる意見文を書くことを意識できるようにする。	【関①】 意見文を意欲的に書こうとしている。[学習活動の観察]

		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 学習課題 説得力のある構成で書く学習。 自分の考えを深めるために意見を聞き比べ、新聞に投稿する意見文を書こう。 </div>		
	2	○説得力のある意見文の構成について考える。 ○学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のモデル文を、反論を入れた文章構成のものとそうでないものの2通りの表現で提示し、対比させることで、説得力のある構成に気付くことができるようにする。 ・児童の発言を取り上げながら学習計画を立てることで、児童が主体的に学習を進めることができるようにする。 	【言①】 文や文章にはいろいろな構成があることについて気付いている。[ワークシートへの記述の分析]
二	3	○自分はどのような未来にしたいか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「平和のとりでを築く」や、学級文庫に置いた本の内容を想起させることで、戦争の悲惨さ、人々の思いと行動について読み取らせ、自分が希望する未来を考えることができるようにする。 	【関①】 意見文を書くために題材を意欲的に選んでいる。[学習活動の観察]
	4	○テーマを決定し、自分の考えを整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェビングで考えを引き出させた上で、青色の付箋に書き出させることで、自分の考えを整理することができるようにする。 	【関①】 意見文を書くために、題材について意欲的に考えを整理している。[付箋への記述の分析]
	5 6	○自分の意見の根拠となる情報を、本などから調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の根拠となる情報は、緑色の付箋に書かせることで、後から並べ替える際、視覚的に情報を整理することができるようにする。 	【関①】 意見を支えるのに効果的な情報を意欲的に探している。[付箋への記述の分析]
	7	○グループで意見を聞き合っ、考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じテーマの児童間で、互いに質問や助言をさせることで、意見に具体的な理由を付け加えることができるようにする。 ・意見交流での的確な質問や助言ができるように、発表後、アドバイスや質問をカードに書く時間を設定する。 	【話聞①】 友達の意見を自分の意見と比べながら聞き、具体的な理由とともに自分の考えを書いている。[カードへの記述の分析]
	8	○友達の質問や意見	<ul style="list-style-type: none"> ・納得した友達の意見や根拠、回答でき 	【話聞①】

	<p>を基に、「予想される反論と、それに対する自分の考え」を書く。</p>	<p>なかつた友達からの質問について、情報を収集し直したり、友達に尋ねたりさせることで、考えを深めることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「予想される反論と、それに対する自分の考え」をピンクの付箋に書かせることで、後から並べ替える際、視覚的に情報を整理することができるようにする。 	<p>友達からの質問や助言を聞き、それらを踏まえて自分の考えを書いている。[付箋への記述の分析]</p>
<p>9 本 時</p>	<p>○付箋を並べ替えて、意見文の構成表をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自作のモデル文の基になった構成表を提示することで、説得力のある構成について考えることができるようにする。 ・教師自作のモデル文の基になった構成表を提示することで、説得力のある構成について考えることができるようにする。 ・付箋を並べ替えながら構成表に整理させることで、意見文の組み立てを検討しやすくする。 	<p>【書①】 説得力のある意見文になるよう、構成の効果を考えながら構成表をまとめている。[構成表の分析]</p>
<p>10</p>	<p>○構成表をグループの友達に紹介し、アドバイスをもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3人グループで助言や質問をし合わせることで、構成表をよりよいものに見直すことができるようにする。 ・伝わりやすくなることを意識させることで、必要に応じて付け加えや修正についてもアドバイスができるようにする。 	<p>【書①】 構成表の言葉の過不足を意識しながら、説得力のある意見文を書いている。[ワークシートへの記述の分析]</p>
<p>10</p>	<p>○構成表を基に意見文を書く。</p> <p>○書き上げた意見文を推敲する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き上げた意見文を読み返させることで、構成表をそのまま書き写すのではなく、必要に応じて言葉を付け加えられるよう促す。 ・意見文の文章全体を読み返させることで、話し言葉と書き言葉が混同していないか確かめることができるようにする。 	<p>【書①】 構成表の言葉の過不足を意識しながら、説得力のある意見文を書いている。[ワークシートへの記述の分析]</p>
<p>三</p>	<p>11</p>	<p>○意見文を読み合い、説得力のある意見文の構成について伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見文のよさに着目させることで、説得力のある意見文の構成について再確認することができるようにする。 <p>【言①】 説得力のある意見文の構成について理解している。[ワークシートへの記述の分析]</p>


	○単元の学習を振り返る。	・身に付けた力について、これからの日常生活のどのような場面で活用ができそうか、児童に問い掛けることで、身に付けた力の活用につなげられるようにする。	【関①】 説得力のある意見文の書き方について学んだことを、今後の生活で生かそうとしている。[ワークシートへの記述の分析]
単元後		・市の弁論大会で発表する児童の意見文を紹介し、本単元で学習した意見文の構成の有用性について実感することができるようにする。	

5 本時の計画（9／11 時）

(1) 目標

説得力のある意見文になるよう、構成の効果を考えながら構成表をまとめることができる。

(2) 展開

…質的改善を図った手立て

学習活動	指導上の留意点及び支援（○）と評価（◆）
1 本時までの学習を振り返る。	○各自が収集してきた情報（付箋）について、次の構成で組み立てることを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 組み立てる付箋の内容 (1) 自分の意見 (2) 根拠となる出来事・資料 (3) 予想される反論と、それに対する自分の考え (4) 自分の意見とまとめ </div>
2 教師が作成した意見文（改善の余地が残る例）を読み、本時のめあてに気付く。	○収集した情報（付箋）を全て用いて書いた意見文を例として示すことで、説得力のある意見文にするために必要なことについて気付くことができるようにする。 ・収集した情報（付箋）から取捨選択する。 ・適切な順番に並べる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 5px;">めあて</div> 集めた情報をどのように選んで、どのような順番で並べれば、説得力のある意見文の構成になるだろう。	
3 教師が作成した構成表を基に、説得力のある構成表を作成するときのポイントを見付ける。	○教師が意見文作成に際して収集した情報と、構成表を見比べることで、「根拠となる出来事・資料」の緑付箋は、内容面で関連性が高い情報を選び出していることに気付くことができるようにする。

<p>4 構成表をまとめる。 〈個人〉</p>	<p>○「予想される反論と、それに対する考え」のピンク付箋については、前時までに各自考えを整理して付箋を書いている。より説得力のある意見文にするためには、反論への考えを補強するような事実を、緑付箋から付け加えることについても言及する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>構成表作りのポイント</p> <p>①「根拠となる出来事・資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事と資料の内容がより合っている付せんを選んでいる。 <p>②「予想される反論と、それに対する考え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反論への考えについて、根拠となる事実を付け加える。 </div> <p>○本時の到達基準として、次のことを知らせる。 (○：ポイント①を使って構成表をまとめている。) (◎：ポイント①②を使って構成表をまとめている。)</p> <p>○ポイント①②を観点として意識させることで、付箋を選んだり、並べたり、付け加えたりすることができるようにする。</p> <p>○ポイント②については、これまで収集した緑付箋の中にそのまま使える情報がないか、精査するように伝える。ない場合でも、反論への考えを補強するために、今後、どのような情報を収集すべきかを新しい付箋に書き出していけば、ポイント②を使ったこととすることを伝える。</p>
<p>5 構成表を紹介し合い、質問や感想を出し合う。 〈3人グループ〉</p>	<p>○ポイント①②を観点として意見交流をさせることで、説得力のある意見文の構成表について、互いの考えが深められるようにする。</p> <p>○ポイント②を使っていない構成表については、グループの中でどのような情報を収集すべきか検討するよう伝える。</p> <p>◆説得力のある意見文になるよう、構成の効果を考えながら構成表をまとめている。</p> <p>○ポイント②で、今後収集すべき情報について付箋を書き足している児童については、読書タイム等で調べる時間を設定することを伝える。</p> <p>○到達基準を基に振り返らせることで、本時の学びを自覚することができるようにする。</p>
<p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。</p>	<p>○「説得力のある意見文の構成」について学習したことを振り返らせ、次時は実際に意見文を記述することを伝える。</p>

(3) 評価

<p>(◆)評価規準</p>	<p>説得力のある意見文になるよう、構成の効果を考えながら構成表をまとめている。 【書】</p>		
<p>判断する目安 (判定基準)</p>	<p>十分満足できる状況 (A)</p>	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<p>努力を要する状況 (C)</p>
	<p>「構成表作りのポイント」①②を使って、構成表をまとめている。 (②については、今後収集すべき情報について付箋を書き添えていれば、基準を達成したとみなす)</p>	<p>「構成表作りのポイント」①を使って、構成表をまとめている。</p>	<p>(B)に達していない。</p>
<p>→(B)、(C)と判断した児童への支援</p>		<p>→これまで収集した情報の中に、反論に対する根拠や考えとして使うことができる情報がないか精査するように伝える。</p>	<p>→付箋の色に着目させ、教師の構成表を示すことで、適切な付箋の選び方や並べ方に気付くことができるようにする。</p>
<p>評価方法</p>	<p>構成表の分析</p>		